

社会福祉法人豊恵会

令和 6 (2024)年度 事業報告書

1. 全体（法人運営）

法人運営においては、役員・評議員等の改選も無く、また、緊急の付議事項も無く、定期の会議のみで推移しました。

評議員会、理事会を下表のとおり開催し運営にあたりました。

表一 評議員会・理事会開催の経過

会議名	開催年月日	主な審議・議決事項
決算理事会	令和 6 年 6 月 1 日	1. 令和 5 年度 事業報告書並びに決算書承認の件 2. 定款変更の件 3. 評議員会開催の件 4. 評議員改選の件
決算評議員会	令和 6 年 6 月 22 日	1. 令和 5 年度 計算書類及び財産目録承認の件 2. 定款変更の件
予算理事会	令和 7 年 3 月 29 日	1. 令和 7 年度 事業計画並びに予算承認の件

2. 福祉事業

前年度に引き続き、就労継続支援 A 型事業を行いました。

利用契約者は、期首 20 名でスタート、途中、2 名が入社しうち 1 名が退社し、期末は 1 名増の 21 名体制となった。5 月に骨折事故が発生し、当人は、結局 6 ヶ月の長期欠勤となった。

サービス提供日数は、各月とも〔月日数－8〕日を予定しました。2 月に降雪による臨時休業を余儀なくされました。

- ① 障害者の受け入れ・個別支援計画の作成、利用者負担額等の請求・受領、介護給付費請求・受領及び利用者の相談・苦情処理等の必要な福祉関連業務を実施しました。
- ② 職員・利用者相互間の融和を図るためのレクリエーション行事は、「納涼祭」を 8 月 31 日に行いました。
- ③ 職員の各種研修会への参加

職員研修は、主にリモート・動画配信を利用し各種研修会に参加しました。

- ・ 令和 6 年度 BCP 研修 6 名
- ・ 令和 6 年度 神奈川県障がい者就労支援力向上研修会 1 名
- ・ 就労支援士認定講座 基礎研修：知識編 1 名
- ・ 令和 6 年度 感染症予防研修 6 名
- ・ 令和 6 年度 岡山県障がい者虐待防止・権利擁護研修 6 名

3. 就労支援事業

① 栽培用菌床並びに菌糸商品の製造販売

前期に続き、昆虫飼育関連の菌糸商品の動きが良く、受注が活発で積極的に仕込みました。最

も売れ筋の「培養産卵木」は、引き続き原料材(クヌギ産卵木)の仕入れに困窮しました。不足対策として、積極的に菌加工を受入れ、加工料として、経営に影響がでないよう対応しました。

一方、菌糸商品の本命となる菌糸ブロックの受注増を期待しておりましたところ、ようやく好影響が出はじめた。

当期の栽培用菌床及び菌糸商品の仕込み実績は次表のとおりであった。

表一令和 6（2024）年度 工場仕込・培養袋数 （単位：袋）

月	仕込釜数	菌床生産			受託生産品		
		全体	キクラゲ	霊芝	全体	ブロック	培養産卵木
4	17	8,446	4,972	2,924	2,977	1,293	1,380
5	15	6,492	2,382	2,483	3,836	1,541	1,823
6	17	8,210	4,257	0	3,347	1,491	1,458
7	17	7,573	2,271	0	3,865	821	2,291
8	11	2,737	880	0	4,604	2,136	1,711
9	15	3,848	3,230	0	5,631	3,077	2,103
10	19	8,032	5,711	0	3,789	2,516	971
11	17	6,813	6,025	0	3,261	2,309	403
12	17	6,217	5,727	0	3,531	1,720	1,241
1	18	8,795	3,560	0	3,879	1,904	1,293
2	16	7,468	3,435	2,079	3,900	1,988	1,490
3	18	9,092	3,163	3,197	3,426	561	1,922
当期	197	83,723	45,613	10,683	46,046	22,264	17,769
前期	187	80,061	46,102	10,414	44,032	19,381	18,053
増減	10	3,662	ヨコバイ	ヨコバイ	2,014	2,883	ヨコバイ

○キクラゲ栽培用菌床の受注は、対前年度比 5%の増産となった。

○クワガタ飼育用菌糸ブロックは、ブナオガ粉を確保していたため、受注に応じ仕込みを続けた結果、約 15%の増産となった。これは、培養産卵木の好調な売れ行きに便乗した売り上げ増を狙っていた成果が徐々に表れた結果となった。

○培養産卵木は、旧来の入手先の復帰によりやや回復傾向にあるが、入手難は慢性的となり、原材料の入手先開拓は継続して行う必要がある。

○お得意先より、廃ホダ産卵木を送ってもらい、菌加工を受ける仕事の量は今後も増えるものと予測される。

②きのこ栽培・販売

自家栽培は、前期同様に採算ベースに乗りにくい種類は栽培数量を減らした。本法人での栽培はアラゲキクラゲ、シイタケを設備の許す限り実施し、南ヒラタケ・北ヒラタケ・ナメコははざまを利用して適宜行った。冬場の北ヒラタケは低温期確実に発生するため、栽培量を増やして行きたい。

年間を通じた生産量は下表に示した。

表-令和 6（2024）年度 きのこ生産量（単位：kg）

月	生鮮キノコ					乾燥キノコ	
	キクラゲ	シイタケ	ヒラタケ類	ナメコ	その他	キクラゲ	霊芝
4	0	1,008	263	28	2		
5	764	409	104	0	28		
6	1,552	84	0	0	26		
7	1,563	1	0	0	20		
8	1,160	0	0	0	10		
9	1,274	50	52	0	28		
10	935	987	813	0	43		
11	0	1,108	173	0	22		
12	0	273	212	103	0		
1	0	79	81	191	0		
2	0	57	16	140	0		
3	0	249	58	137	0		
当期計	7,249	4,273	1,772	599	179	505	348
前期計	10,286	3,707	1,222	515	317	856	150

キクラゲは、生出荷の環境が整わず・宗像・志水企画が受け入れ態勢を構築中・ヨコバイ状況となっている。

シイタケは、学校給食向けの商品の確保のため、ある程度の量を作らざるをえず、「岬」「HB3」を施設能力いっぱい栽培した。学校給食はほとんどが乾燥品で、価格設定も改善している。カット加工品(スライス)は好評で、どの直売所でも競争力のある商品となっている。

きのこ栽培は、苑内ハウス 2 棟（240 m²）、野添ハウス 2 棟（370 m²）及び岬 F・ハウスで行った。岬 F では、キクラゲ委託栽培を行い、すべて乾燥し、生産量は 505 kgを生産した。以下その概要を記す。

1. 生鮮キノコの総収穫量は、約 7 トンで、前期をかなり下回った。これは、利益率の高い、クワガタ飼育用品の増産により、栽培用菌床の仕込み量が減っている事が大きい。
2. シイタケ、ヒラタケ類等は、東上ハウスの許容能力の範囲内で栽培した。
3. ナメコ栽培は、菌床販売先では好評であるが、苑としては疑問符で、一考を要する。

4. その他のマイタケは、売り方、売れ行きともに検討の余地が残った。
5. 霊芝(ナガセ向け)は、栽培量を増やしたところ、成績もよく増収となった。
6. キクラゲ栽培は、岬 F ハウスを利用した栽培で増産が可能であることが分かった。

4. 事業収支

令和 6 年度「東上きのこ苑」事業収支は、ほぼ下表のとおりとなりました。

令和 6 年度 事業(会計区分別)収支表

(単位：千円)

区分	科目	6 年度予算額	6 年度決算額	増 減	摘 要
福祉収入	自立支援給付金	35,000	37,841	2,841	安定収入を維持している
	利用者負担金	800	895	95	
	補助金収入	2,650	3,325	675	
	福祉収入計	38,450	42,061	3,611	
福祉支出	人件費	28,500	29,245	745	微増
	事業費	1,700	1,886	186	
	事務費	7,500	7,169	-331	
	福祉支出計	37,700	38,300	600	
福祉会計収支		750	3,761	3,011	
就労収入	菌床売上	16,000	14,882	-1,118	
	きのこ売上	12,000	11,016	-984	
	受託製造売上	20,000	24,235	4,235	好調な売れ行き
	昆虫事業売上	4,000	4,039	39	
	就労収入計	52,000	54,172	2,172	
就労支出	労務費	23,000	24,306	1,306	微増
	材料費	15,000	17,897	2,897	原料増
	外注加工費	2,000	1,356	-644	
	製造経費	8,200	7,916	-284	
	就労支出計	48,200	51,475	3,275	
就労会計収支		3,800	2,697	-1,103	
合計収支		4,550	6,458	1,908	

※詳細は、決算明細書類をご覧ください。

福祉会計：

安定財源となる自立支援給付金が予算以上の収入となり安堵した。

骨折(労災事故)による半年間の欠勤者が出たが、そり以外の利用者は安定して出勤した。

就労支援会計：

昆虫関連菌糸商品の動きが引き続き好調で、仕込み量を 5%ほど増やしたものの、在庫切れの状況で推移した。原料となる「ブナオガ粉」および「クヌギ産卵木」の入手に気を配り、好調を維持したい。

ブナオガ粉は、受注増に応じて購入量が増えるため、切らさない様配慮しておく必要がある。

特に、入手先が寒冷地のため冬場は動かないことを肝に銘ずる必要がある。

事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細は作成しない。

社会福祉法人豊恵会